



むらかみ 市議会だより

NO.77
令和6年5月15日

3月定例会

代表質問	2
一般質問	4
主な議案	10
議案の審議結果	15
議会の活動レポート	17
市民ヘインタビュー	20



“ワクワク” “ドキドキ” 今日から一年生
さんぽく小学校 入学式

5会派が聞く

令和6年村上市議会3月定例会は、2月20日から3月15日までの25日間の会期で開かれ、市長の施政方針や、昨年度を1億8千万円上回る359億8千万円の一般会計当初予算案をはじめ各議案を審議しました。

2月21日には当初予算案の審議に先立ち、新年度の施政および予算編成方針に対して各会派からの「代表質問」が行われました。代表質問は会派を代表する議員が、市政の運営方針や主要課題など、政策レベルでの問題点や将来に対する方針などについて市長に所信をたずもので、質問時間は会派の所属人数によって配分されます。

質問者が作成した主な質問と答弁の要旨を掲載します。また、新年度予算案等の委員会審査の内容は、10～14ページに掲載していますのでご覧ください。

健全な財政運営を



市声クラブ
木村 貞雄

問 税収増を図る対策は。

答 企業誘致や企業の事業拡大によって法人事業税の拡大を図っていくことも一つである。また、洋上風力発電もスタートすることから、関連する事業が広がることによって税収を上げていくことが可能ではないかということなどで、情報収集も含めて準備を進めている。

問 経費節減の政策は。

答 市で年間使用している紙が非常に多いので、ペーパーレスに努めていく。また、現在進めているDXによって時間のコストを削減していく。

問 8年度に財政収支が赤字になる見通しであるが、対策は。

答 組織改革等いろいろなことを検討している。

(質問時間 52分)

公共施設のビジョンは



高志会
尾形 修平

問 公共施設マネジメントプログラムにおいて、461施設のうち、新年度までに362施設の見直しを終えるとのことだが、用途廃止の30施設はどのようなものか。

答 用途廃止施設の活用処分取り組み方針に基づき、市が直接再利用する必要のない施設は、積極的に譲渡・貸付等も含め民間に開放しながら有効活用を図っていく。

問 老朽化が進み、民間でも活用できない施設はどうするのか。

答 売却も視野に活用をお願いしていく。また、マネジメントプログラムで現状維持とされている300以上の施設も含め、真に必要な施設なのかもさらに検討していく。

(質問時間 53分)

新年度に向け

重視して取り組む事業は



鷺ヶ巣会
大滝国吉

問 いろいろな事業を幅広く実施していくが、これから市長が一番重視して取り組む事業は。

答 非常時にしっかりと対応できる財政力を有しておくということが大切であるため、予算編成に当たっては「攻め」と「守り」の部分を確認にしたつもりである。今後、一つ一つの執行レベルで、そのような意識を進めていくことが必要だと思っている。その積み上げが結果として、健全な財政運営につながっていく。余裕のある予算編成ができれば、知恵や工夫を出し、いろいろなことへ取り組みることができる。そのような状況を早く作り出すように、これからしっかりと取り組みを進めたい。

(質問時間 53分)

令和の北前船、繁栄再び



新政村上
長谷川孝

問 自然の海風を活用した洋上風力発電の事業者が決定し、新産業が大いに期待される。その海風を活用し、江戸時代中期から本市の海岸線50kmの各集落では北前船の繁栄により伝統文化が育まれてきた。現在、文化庁へ北前船日本遺産登録に向け申請をしているが、登録を機に、海風を活用した過去と未来（北前船と洋上風力）の融合を考えた活用はあるか。

答 本市には北前船の遺構が多く残っている。海風を活用した洋上風力は、将来に向かって最も重要な産業分野であると同時に、これまで育んできた北前船の伝統文化を歴史的背景も含めて融合させていくことが非常に重要である。

(質問時間 46分)

米坂線の早期復旧に向け



令和新風会
川村敏晴

問 施政方針に、米坂線沿線自治体等と連携し、早期復旧に向けた要望活動を継続するところである。そこで、新潟県出身であり、赤十字カル線の災害復旧等を支援する議員連盟会長の佐藤信秋参議院議員に、復旧活動の要望をしていただきたいと考えるが。

答 佐藤参議院議員が災害現場を視察する際に、随行させていただき、米坂線の被災状況もつぶさに説明させていただいた。現状とこれからの取り組み方針などについては何度もお話しをさせていただいているが、改めてチームとして、沿線自治体の意志としてしっかりとお伝えする機会を設けるよう取り組みを進めていきたいと思っている。

(質問時間 46分)

3月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

一般質問

市政のことが聞きたい

1 **富樫雅男**

1. のりあいタクシー
2. 市民のデジタル活用支援

5 **市声クラブ 山田 勉**

1. 村上駅周辺まちづくり事業
2. あかまつ荘
3. 旧香藝の郷

2 **令和新風会 高田 晃**

1. 村上城跡の整備状況と今後の維持管理
2. 山居山の整備と今後の維持管理
3. リニューアルする道の駅朝日

6 **渡辺 昌**

1. 学校統合計画
2. 空家対策計画

3 **稲葉久美子**

1. 災害に対する備え
2. 介護保険制度

7 **上村正朗**

1. 障がい者福祉

4 **鷲ヶ巣会 河村幸雄**

1. ユネスコ無形文化遺産登録
2. 防災対策
3. お悔やみ窓口開設

8 **菅井晋一**

1. 朝日地区ほ場整備事業の推進
2. 森林・林業・木材生産の活性化
3. 災害対策
4. 財政健全化に向けての取り組み



のりあいタクシーの利便性改善



富樫雅男

問 新発田市内の病院への高速のりあいタクシーの運行は。

答 県立新発田病院を目的地として運行することが妥当と判断し、国と新発田市に打診した。今後は財政負担を考慮しながら持続的なものとなるように検討を進めていく。

問 新潟市内の病院行きである高速のりあいタクシーの1便に、確実に乗り継ぎできるよう、のりあいタクシーを運行できないか。

答 最適な運行とするため、今後も利用者や運行事業者の意見を伺いながら検討していきたい。

問 通院対応のりあいタクシーの1便の予約は前日までの予約になっているが、県内他市では1時間前まで



待ち望まれる新発田行き

の予約としている自治体もある。当日予約ができるようにならないか。

答 運行事業者の乗務員確保の問題があり難しいと考えている。

問 メールマガジンの登録者数は。

答 2月25日時点で、1万6427人となっている。

問 マイナンバーカードの普及率は。

答 1月末時点で75.7%である。

問 高齢者のスマホ保有者が増えているが、使い方が分からず困っているとの調査データもあるが対応は。

答 来年度もスマホ教室等を行うが、加えて、デジタルデバインド(※)対策を役割とする地域おこし協力隊員を配置し、高齢者が参加しやすいよう町内など身近な場所でスマホ教室や相談会を開催していく。

山居山の今後の維持管理は

問 山居山は、平成19年に発足した「山居山里山整備の会」が、約20年にわたり歩道整備や林内整備などを継続的にを行い、子どもたちの自然観察や健康増進、森林浴を楽しむ市民が多く訪れる里山に整備されているが、市有林である山居山の今後の維持管理についての考えは。

答 山居山は、普通財産として松くい虫防除や樹木の伐採等を行っている。遊歩道は、「山居山里山整備の会」が補助事業を活用して整備し、安全に登山を楽しむことができる里山となっている。引き続き連携して維持管理をしていきたい。



きれいに整備された山居山遊歩道



高田 晃

問 会の皆さんが精力的に整備されているが、市長は登ったことは。

答 登ったことはない。

問 会の皆さんも高齢化していることから、今後の維持管理について良い考えはないか。

答 市内にも歴史的背景のある道があるので、調査して対応したい。

問 今後の維持管理にはマンパワーが必要である。森林環境譲与税の活用などはできないか。

答 市の森林資源を使うことにより、市内でサブプライチエーンを構築して遊歩道の整備を行うという視点もあるので、財源として森林環境譲与税を活用することは可能と考える。また、森林空間の利用という視点で事業に取り組んでいるので、森林浴などで連携できるものがあれば、支援を検討していきたい。

※デジタルデバインドとは？ インターネットなどを使える人と使えない人との間に生じる情報格差のこと。

災害に対する意識向上を

問 耐震診断をした木造住宅の数は、

答 過去5年間で16件である。

問 耐震診断を受ける動機は、

答 耐震診断を受けた方に行ったアンケートでは、「耐震性能に不安があり、耐震性能を知りたかった」が一番多く、「工務店等から勧められた」「費用が安価だった」が続いている。この結果から住んでいる住宅の状況を把握しておきたいというニーズによるものが多いと考えている。

問 さらに事業内容を見直して積極的に事業展開しては、

答 診断費用の10万5千円のうち1万円を負担してもらっている。費用



二ノズの多い介護医療院



稲葉久美子

対効果を見極めながら研究していく。

問 第9期介護保険事業計画の保険料基準額は、

答 基準額は6300円で第8期計画と同額である。また、低所得者の保険料の上昇を抑制するため、所得段階を13段階とした。

問 見直しにより変わるサービスは、

答 在宅寝たきり老人等介護手当および紙おむつ等購入費助成事業が第1号保険料を財源とする保険福祉事業で実施するが、提供するサービス内容に大きな変化はない。

問 介護医療院の現状は、

答 2月15日現在、満床に近い状況だが、3月には市内病院の介護医療院への転換整備が終了し、4施設で294床の受け入れが可能となるため、利用者のニーズに応えられるものと考えている。

ユネスコ無形文化遺産登録へ



河村幸雄

問 ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」の拡張提案候補として村上祭の屋台行事が追加申請されるが、登録を見据えた取り組みは、

答 村上まつり保存会および村上大祭屋台運営委員会が巡行経路や各町の屋台を紹介したパンフレットを発行しているが、今後のユネスコ無形文化遺産への登録を見据え、改めて市として対応していかなければならないと考えている。また、観光客向けの公共トイレの整備や案内看板の設置は既存施設の利用状況などを踏まえて検討していく。外国語の案内については、翻訳アプリの活用など観光DXの取り組みを含め検討していきたい。



伝統ある祭りが世界に認められる

問 行政上の手続きを一つの窓口で受け付けをするお悔やみ窓口開設の考えは、

答 各支所では一つの窓口で全ての手続きを行うことができるが、本庁でも同様にできるような体制の整備に努めていく。

問 能登半島地震による輪島市での

答 平成30年に水利や消防車両の進入路等の調査を行い「危険区域警防計画」を策定したが、今回の震災を踏まえ、被災現場へのアクセスが困難な場合の初動体制の確保策など、あらゆる場合を想定した事前の防災対策の策定に取り組んでいかなければならないと考えている。

村上駅周辺のまちづくりは



山田 勉

問 村上駅周辺まちづくり事業の総事業費とその財源は。

答 整備手法および内容がまとまり次第お示しできると考えている。

問 この事業で検討している国の施設および複合施設は。

答 国の施設は、協議中のため決定次第報告する。複合施設は、交流やにぎわいを中心とする施設を計画しており、今後実施するワークショップで幅広い年代からの意見集約やサウンディング型市場調査(※)による民間活力の導入を検討し、内容を具体化していく。

問 あかまつ荘の利用者数は。

答 5年4月から6年1月末現在で、村上地域

5574人、荒川地域870人、神林地域362人、朝日地域1087人、山北地域1人、市外118人である。

問 送迎条件の緩和や送迎時間の見直しは考えているか。

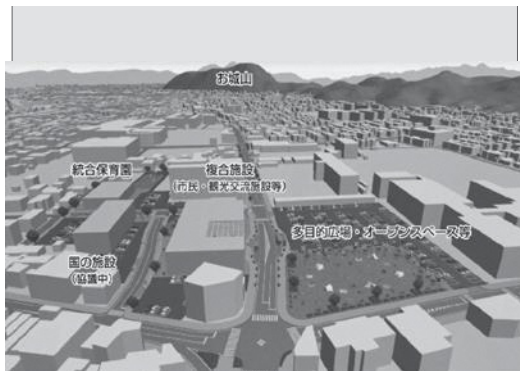
答 5年4月から送迎の基準を10人以上から5人以上に変更している。送迎時間は、現在も利用者の申請時間に合わせて行っている。

問 旧香藝の郷に要した経費は。

答 建物購入費や訴訟費用など合計で1億2065万6538円となる。

問 旧香藝の郷について、地元団体との話し合いは。

答 5年度は11回話し合いが行われており、瀬波地区区長会からは、活性化の活用策が示されれば積極的に協力するとの意見をいただいている。



村上駅周辺まちづくり事業 大規模跡地(村上総合病院跡地・ジャスコ跡地)利活用案

空き家解体促進の対策を



景観だけでなく、周辺の通行や衛生面に悪影響をもたらす危険な空き家

にかかる費用補助の導入を検討するとの記載があるが、計画の内容は。

答 補助対象を特定空き家だけでなく、特定空き家となる前の段階で所有者等による適切な除却を促すため、特定空き家に認定されていない建物も補助対象にできないか検討することとしている。

問 特定空き家への対策として、建物の解体後も固定資産税を減免する自治体が増えているが、本市においてもそのような対応を検討されているか。

答 解体後の減免制度は、空き家が管理不全な状態になることを未然に防ぐため、所有者等による解体につながるようとするもの。現在策定中の計画で予定している制度であり、施行後に具体的な内容を協議していく。



渡辺 昌

※サウンディング型市場調査とは？
行政と事業者との意見交換等を通じ、市有地などの活用等についての有用な意見やアイデアを収集するための調査。

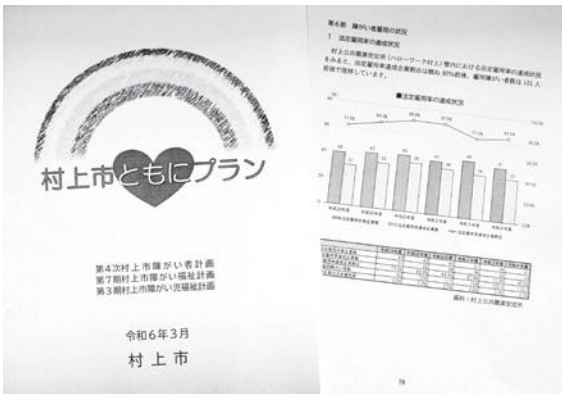
障がい者福祉の充実を

問 障がいのある人が安心して暮らし暮らせるまちづくりを進めるには、障がい関連3計画に基づく取り組みを着実に進めることが重要だと考えるが。

答 障がい関連3計画は、障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるまちづくりを進める上で重要な計画である。計画を着実に進め、地域共生社会の実現を目指したい。

問 障がい関連3計画の名称を分かりやすく親しみやすいものにするべきでは。

答 軟らかい名称としたい。
問 差別解消に向けた取り組みは。



計画に基づく着実な取り組みを



上村正朗

答 対応要領に基づく市職員の研修や関係機関に啓発を行っている。

問 村上駅周辺まちづくり事業の中で障害のある人の就労の場をつくるべきと考えるが。

答 自立支援協議会の就労部会で検討し、内容を所管課へ情報提供した。

問 日帰り入浴施設の障がい者割引制度を拡充すべきでは。

答 拡充するために各施設と協議していく。分かりやすい情報提供も行っていい。

問 相談支援専門員の確保に向けて取り組むべきでは。

答 なり手不足が懸念されるため、確保に向け取り組んでいる。

問 差別解消と共生社会実現を目指した条例を制定すべきでは。

答 条例制定には課題も多いが研究したい。

財政健全化の手法はいかに



菅井晋一

問 市では財政の健全化に向けて、財政の見直しに着手するとしたが、予算の説明書などからは見えない。具体的な見直し施策を示してほしい。

答 具体的な見直し施策は、「行政改革大綱2022」にある行政サービスの改善と向上、公共施設の適正管理、効率的な行政組織の3項目の重点施策に基づき、具体的な見直し施策を選定し、進めていく。

問 財政の健全化は、市役所ばかりで苦労して解決できるものではなく、市民の理解と協力があつてこそ進んでいくもの。例えば長寿祝金改正は、本定例会の議案で分かった。可決されれば4月1日から施行。できれば1年前くらいに周知さ

れるような配慮が必要だ。制度の廃止やサービスの低下には、市民にも分かりやすい、もう少し丁寧な取り扱いが必要ではないか。

答 公共施設マネジメントプログラムでは461施設の必要性を問い、財政収支見直しでは赤字の可能性も示し常に情報提供し、市民と議会とも情報共有してきた。今回の長寿祝金制度も区長会を通じて情報収集し制度を見直した。情報提供が足りないと、遅れたと言われれば、これはしっかり受け止める。行政改革は市民サービスを極力低減させないことを大前提に進めている。市民の皆さんにもご協力いただくことがたくさん出てくる。覚悟を決め、気を引き締めて行政改革を進めていく。

100歳の敬老祝い金の贈呈実績

	村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	合計
令和元年度	18	3	3	2	5	31
2年度	12	3	4	4	5	28
3年度	11	4	8	7	5	35
4年度	7	6	9	5	4	31
5年度	13	3	6	3	3	28

(人)

退任された議員の方々

令和6年4月26日の任期満了をもって、4名の議員が退任されました。
在任中は市議会の円滑な運営に多大な貢献をされ、市政発展にご尽力されたことに感謝いたします。



本間善和 議員

平成28年から2期8年間にわたり市政に貢献。その間、高速交通等対策特別委員会委員長や経済建設常任委員会副委員長を歴任。



鈴木好彦 議員

平成28年から2期8年にわたり市政に貢献。その間、高速交通等対策特別委員会委員長や総務文教常任委員会副委員長を歴任。



稲葉久美子 議員

平成28年から2期8年にわたり市政に貢献。その間、市民厚生常任委員会委員や地域医療調査特別委員会委員を歴任。



木村貞雄 議員

平成12年から神林村議会および村上市議会議員として7期24年にわたり市政に貢献。その間、総務文教常任委員会委員長や議会選出の監査委員を歴任。

議長交際費の支出状況

村上市議会では、「村上市議会議長交際費の支出基準」を定め、議長交際費の適正かつ公正な支出に努めています。令和5年度の議長交際費の支出状況は次のとおりです。各月の支出内容については、市議会ホームページ（[村上市議会議長交際費](#)で検索）をご覧ください。（単位：円）

項目 月	祝儀	会費	弔慰	見舞い	接遇	贈答	その他	月計
4月		14,500 (2件)	10,000 (1件)			5,340 (1件)		29,840
5月		25,987 (6件)	26,500 (1件)				63,300 (2件)	115,787
6月		19,600 (3件)					6,000 (1件)	25,600
7月		7,000 (2件)		5,000 (1件)				12,000
8月		11,600 (2件)						11,600
9月								0
10月		17,000 (3件)	10,000 (1件)			43,126 (8件)		70,126
11月		9,197 (2件)	10,000 (1件)			12,032 (3件)		31,229
12月		9,200 (2件)	86,500 (3件)					95,700
1月		9,198 (2件)						9,198
2月		6,000 (1件)	10,000 (1件)					16,000
3月			10,000 (1件)					10,000
合計		129,282(25件)	163,000 (9件)	5,000 (1件)	0	60,498(12件)	69,300 (3件)	427,080

祝 儀：記念式典、総会、行事などへのお祝いに係る支出
 会 費：記念式典、総会、行事などへの参加に係る支出
 弔 慰：議会関係者などに対する香典などに係る支出
 見舞い：議会関係者の病気などに対する見舞金、災害などによる見舞金に係る支出

接 遇：議会への来客贈りなどに係る支出
 贈 答：議会運営上必要な相手への贈答に係る支出
 その他：上記以外の支出

市では令和6年度から8年度までを「財政健全化集中取組期間」として、財政の見直しに着手します。6年度はその初年度となり、一般会計の歳入歳出予算は359億8千万円、前年度比1億8千万円の増となりました。予算案は一般会計予算決算常任委員会において審査し、原案のとおり可決されました。

一般会計予算

359.8億円

初年度予算を審査

地域の公共交通再編へ

3億3,807万円

問 地域公共交通活性化協議会負担金を約6千万円増額する理由は。

答 交通手段を維持するため、バス路線廃止後も市がバス事業者に依頼してバス運行を行う廃止路線代替バスから、行政が中心となり既存の路線以外の地域にバスを走らせるコミュニティバスの運行に転換するため増額となった。新規に6路線を考えている。

問 生活交通確保対策補助金を3600万円減額する理由は。

答 山北地域において廃止路線代替バスから山北地域交通運営協議会が主体となる事業に転換するため減額となる。

支所管理の見直し

3,814万円

問 閉庁後の支所の警備業務委託を機械警備に切り替えるとのことだが、閉庁後の住民からの問い合わせにはどのように対応するのか。

答 閉庁後の支所への電話は本庁の警備室につながり対応することになる。それに伴い本庁の警備員を1人から2人に増員する。

スクールサポートスタッフを増員

1,312万円

問 学校介助員の配置数を減らすとのことだが、

適切な支援体制は維持できるのか。

答 スクールサポートスタッフ（※）を全校に配置してほしいとの学校側からの強い要望により、20人を増員した。介助員は減員となるが、体系的には支援体制が維持される。

※教材等の印刷や物品の準備など、教職員の支援を行います。

給食会計の公会計化

2億5,904万円

教職員の負担軽減のため、各学校で管理する給食会計を市の一般会計に組み込みます。

乳幼児おむつ用品購入を支援

2,601万円

4年4月1日以降に出生した満3歳未満の乳幼児を養育する保護者に対して、乳幼児1人当たり3万6000円分のおむつ用品購入券を支給します。

除雪管理システムを導入

1,400万円

GPS端末を除雪車に設置し、除雪車の位置情報などを取得することで、地図サイトで除雪の進捗状況を把握することが可能になります。市民の方もウェブサイトで最新の除雪情報を確認することができます。

財政健全化へ 集中取り組みの

道路照明のLED化

2億3,260万円

問 道路照明を水銀灯からLEDへ交換を進めているが、現状は。

答 316基の道路照明があり、現在のLED化率は19.9%ほどである。修繕の際に光源や灯具を交換するほか、支柱ごと取り替える場合もある。今年度は10基で400万円ほど見込んでいる。

協働のまちづくりを推進

3,037万円

問 地域の維持や活性化への取り組みを支援する集落支援員が増員されるが、新たに配置される地域は。

答 岩船、瀬波、山辺里、上海府の各地区に新たに配置されるほか、山北地区では増員する計画である。

高齢者世帯のエアコン設置を助成

25万円

問 これまで高齢者向け住宅整備補助事業により対応されていたが、新たに高齢者向けエアコン設置補助金制度を設けた理由は。

答 これまでの補助金は介護認定を受けていることが要件であったが、熱中症対策の面から介護認定を受けていなくても高齢者のみの世帯であればこの補助金を利用できる。金額的には変わらないが、対象者を広げたもの。

焼却灰の最終処分業務の見直し

5,140万円

問 ごみ処理場で発生する焼却灰の最終処分業務委託料が2倍以上に増額となっている理由は。

答 これまで焼却灰を資源化する取り組みを行ってきたが、コストが高くなってきたことから処分方法の見直しにより、最終処分場業務委託で全量に対応することとしたため増額となった。

おにぎりサミットで村上の食材をPR

1,430万円

問 食材プロモーション事業の一つとしておにぎりサミットを挙げられたが、その詳細は。

答 魚沼米の産地である南魚沼市の呼びかけにより7自治体に参加し、おにぎりに必要な食材を生産している自治体が、それぞれの物産等を連携してPRしていくこととするものである。



おにぎりサミット2024

公営企業会計

(支出)

予算額 122億7,363万円

公営企業会計は、地方公営企業法の適用を受け、原則として独立採算制で運営される会計です。その年度の経営損益を示す「収益的収支」と、将来の経営に備えて行われる建設改良事業などの資本取引を示す「資本的収支」に区分した会計方法が用いられています。

会計名		収入	支出
上水道事業会計	収益的	11億7,338万円	11億3,152万円
	資本的	9億3,210万円	14億476万円
簡易水道事業会計	収益的	3億4,061万円	3億4,061万円
	資本的	3億8,659万円	5億1,159万円
下水道事業会計	収益的	38億6,800万円	38億6,800万円
	資本的	37億8,866万円	50億1,715万円

特別会計

予算額 150億3,869万円

特別会計は、ある特定の目的のために実施する事業について、収支を明確にするため一般会計とは別に経理する会計です。本市には下表のとおり6つの特別会計があります。

会計名	予算額	前年度比
土地取得特別会計	1億1,182万円	2,240.80%
情報通信事業特別会計	4億6,400万円	120.50%
蒲萄スキ一場特別会計	1億2,500万円	75.00%
国民健康保険特別会計	54億7,600万円	103.10%
後期高齢者医療特別会計	9億5,300万円	117.00%
介護保険特別会計	84億3,100万円	100.80%

国民健康保険特別会計

問 基金が約4億円あるが、基金を取り崩して保険料を下げるような検討はしなかったか。

答 県内自治体の中でも本市の1人当たりの医療費は高い状況であり、高額医療も増えている。保険者数が減少しても、かえって医療費が上がるが見込まれており、今のところ保険料率は改定せず、もし必要があれば基金を取り崩しながら保険料を据え置く方向である。

今川橋の修繕補強へ

議第15号 村上市辺地に係る総合整備計画の策定

市道今川7号線今川橋の劣化が進んでいるため、修繕補強工事による長寿命化への計画を策定します。

問 国の補助事業であり、市負担分の一般財源に辺地対策事業債を充てるとのことだが、辺地対策事業債とは。

答 一般財源の4,060万円に辺地対策事業債を充てるもので、事業費への起債充当率が100%であり、その元利償還金の80%が交付税措置される。今回の償還期間は10年間で、そのうち据え置き期間が2年間となっている。



修繕補強工事が行われる今川橋

デイサービスセンターを統合

議第26号 村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定

利用者の減少等によりデイサービス長津を廃止し、さわらびセンターと統合します。

問 リハビリ設備のある施設の利用を希望する方が多いと聞いている。さわらびセンターも定員をかなり下回っており、リハビリへの対応を強化するなどの取り組みが必要ではないか。

答 リハビリを求める利用者が非常に多いため、さわらびセンターでも看護師や専門職によるリハビリの対応を今後検討していく。



行事を楽しんでいる利用者の皆さん(デイサービス長津)

長寿祝金の支給内容を変更

議第27号 村上市長寿祝金等支給条例の一部を改正する条例制定

長年にわたり社会に貢献された高齢者の方々への祝金及び祝品について、99歳の祝品を廃止、100歳の祝金を20万円から10万円に減額します。

問 周知期間が短く問題ではないか。区長会等でも説明しているとのことだが、その区長会はいつ頃だったのか。

答 区長会ではないが、昨年11月に敬老会の運営方法等を確認する際に合わせて、長寿祝金についての意見もお聞きした。意見の中には現状維持や増額の意見もあったが、平均寿命が延びている中で、見直しや検討をし、子育て支援などに使ったらどうかとの意見等もいただいたことから、今回の提案につながった。

令和5年度 一般会計補正予算

北前船日本遺産登録への取り組み状況

北前船日本遺産広報業務委託料 ▲ 100 万円

北前船日本遺産の追加登録に至らなかったため、広報業務委託料を減額補正します。

問 5年度の登録に向けて予算化していたが、登録に至らなかった理由は。

答 北前船日本遺産登推進協議会自体や構成自治体の状況から、本市が追加認定の申請を行うタイミングにないと判断した。6年度の認定については文化庁に申請書を提出しており、今年7月頃には結果が出る予定となっている。

子どもの医療受診が増加

子どもの医療費助成経費 1,395 万円

子どもの医療機関への受診が増え、医療費等審査支払委託料および医療費助成額が増加したため増額補正します。

問 子どもの医療費助成経費が大幅に増額となっているが、その理由は。

答 前年度と比較すると7,400件ほど増加している。これまではコロナ禍により受診を控える傾向であったが、今年度は受診件数が増加となったほか、1件当たりの医療単価が高くなっていることが理由である。

奨学金の返還補助を実績見込みにより減額

奨学金返還支援補助金 ▲ 95 万円

問 制度の概要と利用状況は。

答 奨学金の返還に当たって、Uターンなどにより市内在住となった場合に、一定の補助をする制度である。当初予算で89人分を見込んでいたが、実際に利用されたのは74人であった。

河川工事との調整のため6年度に繰り越し

農地農業施設災害復旧費（繰越明許費） 1 億 3,500 万円

問 8.3大雨災害の農地農業施設の復旧工事が36カ所で繰越されるとのことだが、その箇所は。

答 荒川2、神林2、朝日6、山北25の箇所で、河川工事が終了しないと工事ができない場所である。耕作には影響が無いように対応している。

議案審議結果

◎=全会一致で可決、同意

○=賛成多数で可決、同意

議案番号	議案名	結果
議員発議第1号	村上市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	◎
議員発議第2号	村上市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第2号	村上市監査委員の選任について (穴戸由喜夫氏：新任)	◎
議第3号	村上市教育委員会委員の任命について (大滝 豊氏：再任)	◎
議第4号	令和6年度村上市一般会計予算	◎
議第5号	令和6年度村上市土地取得特別会計予算	◎
議第6号	令和6年度村上市情報通信事業特別会計予算	◎
議第7号	令和6年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算	◎
議第8号	令和6年度村上市国民健康保険特別会計予算	◎
議第9号	令和6年度村上市後期高齢者医療特別会計予算	◎
議第10号	令和6年度村上市介護保険特別会計予算	◎
議第11号	令和6年度村上市上水道事業会計予算	◎
議第12号	令和6年度村上市簡易水道事業会計予算	◎
議第13号	令和6年度村上市下水道事業会計予算	◎
議第14号	村上市過疎地域持続的発展計画の変更について	◎
議第15号	村上市辺地に係る総合整備計画の策定について	◎
議第16号	村上市辺地に係る総合整備計画の変更について	◎
議第17号	村上市監査委員条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第18号	村上市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第19号	村上市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第20号	村上市手数料条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第21号	村上市消防手数料条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第22号	下越福祉行政組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	◎
議第23号	村上市統合保育園等整備運営事業候補者選定委員会条例制定について	◎
議第24号	村上市病児保育施設設置条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第25号	村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第26号	村上市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎

議案番号	議案名	結果
議第27号	村上市長寿祝金等支給条例の一部を改正する条例制定について	○
議第28号	村上市高齢者生活支援に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第29号	村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第30号	村上市指定介護予防支援事業に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第31号	村上市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第32号	村上市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第33号	村上市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第34号	朝日みどりの里条例の一部を改正する条例制定について	○
議第35号	村上市漁港管理条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第36号	村上市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第37号	村上市上水道条例及び村上市水道布設工事監督者の配置及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第38号	令和5年度村上市一般会計補正予算(第10号)	◎
議第39号	令和5年度村上市土地取得特別会計補正予算(第2号)	◎
議第40号	令和5年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第3号)	◎
議第41号	令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算(第2号)	◎
議第42号	令和5年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	◎
議第43号	令和5年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎
議第44号	令和5年度村上市上水道事業会計補正予算(第3号)	◎
議第45号	令和5年度村上市下水道事業会計補正予算(第3号)	◎
議第46号	村上市副市長の選任について (大滝敏文氏：新任)	○
議第47号	村上市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第48号	令和5年度村上市一般会計補正予算(第11号)	◎

※網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

各議員の賛否 議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

議案番号	鷲ヶ巣会			高志会			市声クラブ			新政村上		令和新風会		渡辺 昌	稲葉久美子	鈴木好彦	富樫雅男	菅井晋一	上村正朗	賛否結果	
	◎大滝国吉	*鈴木いせ子	河村幸雄	◎尾形修平	*小杉武仁	鈴木一之	◎木村貞雄	*本間善和	山田 勉	◎長谷川孝	*三田敏秋 ※1	◎川村敏晴	*高田 晃							賛成	反対
議第27号	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	-	○	○	○	×	×	○	○	×	11	7
議第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	17	1
議第46号	※2									-	※2									12	6

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。
 ※2 表決の方法を無記名投票としたことから賛否の表示を行うことができません。

人事案件

監査委員の選任に同意しました

(任期：令和6年6月5日～10年6月4日)



しど ゆきお
大戸由喜夫 氏(新任)

監査委員は、普通地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた識見を有する者および議員のうちから、市長が議会の同意を得て選任します。

監査委員は、市の予算の執行、契約、財産の管理などの財務事務や行政事務全般が、適法で合理的かつ効率的に執行されているかを監査します。

教育委員会委員の任命に同意しました

(任期：令和6年5月21日～10年5月20日)



おおたき ゆたか
大滝 豊 氏(再任)

教育委員会では、学校教育や生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術といった本市の幅広い教育行政を運営しています。

市長から独立した行政機関として位置付けられているため、教育委員会委員は、議会の同意を得て市長が任命します。

副市長の選任に同意しました

(任期：令和6年4月1日～10年3月31日)



おおたき としむち
大滝敏文 氏(新任)

副市長の忠聡氏から、3月31日をもって退職したい旨の願い出があり、承認されたことから、後任として企画戦略課長の大滝敏文氏を適任とし、新たに副市長に選任しようとする議案が上程されました。

無記名投票の結果、賛成12、反対6の賛成多数で可決されました。

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

やまゆり荘の現状を調査

1 / 15 市民厚生常任委員会

養護老人ホーム「やまゆり荘」について調査を行いました。

養護老人ホームは、経済的な理由などにより自宅での生活が困難な65歳以上の方を擁護し、社会復帰の支援を行うことを目的とした施設で、市内ではやまゆり荘1施設のみです。

定員割れと老朽化

入所定員は50人ですが、12月1日現在の入所者数は26人で、平成29年以降定員割れの状況が続いていることや、施設の老朽化が進んでいることが課題となっています。

所管する介護高齢課では、指定管理者との意見交換会を実施し、施設の修繕箇所や、利用者の入所に関する事など現状、要望事項を確認しているとのことでした。また、建て替えや廃止等公共施設マネジメントプログラムに基づく検討が行われています。

施設の今後の方向性

養護老人ホームは、高齢者のセーフティネットとしての役割が非常に大きく、大切な施設とのことです。運営状況から、単独設置は非常に難しい状況であり、併設複合施設とすることが望ましいと考えているとのことでした。

将来像の検討や併設型への移行など、今後の課題はありますが、現在の入所者への対応も含め、より良い運営が望まれます。



1 / 25 経済建設常任委員会

鮭の伝統文化を守る

記録的な不漁となった三面川の鮭漁について調査しました。

ふ化事業の卵を確保

鮭の不漁については、三面川に限らず温暖化の影響で太平洋側、日本海側でも漁獲量の減少が見られ、三面川での漁獲量は例年の3割程度しかなかったとのことでした。ふ化事業として1千万粒の卵の確保を目標値としていましたが、自力での確保が困難であったため、県、市の補助金を活用し、県内外の漁協の協力により594万粒は確保できたとの説明がありました。

伝統漁法の伝承を

伝統漁法である居繰網漁に関しては、高齢化が進み、後継者の確保が課題とのことでした。今後地球温暖化は鮭の生態系に影響を及ぼす恐れが考えられることから、本市の伝統的な鮭漁を伝承

するためにも、継続的な支援が必要と思われます。



〈村上市民ふれあいセンター〉の空調について

当委員会が所管する村上市民ふれあいセンターについても調査しました。ふれあいセンターでは、空調設備の不具合により冷暖房が効かない状態となっており、現状や今後の改修計画について確認しました。所管する観光課では、空調の工事は今年8月ごろに発注予定であり、工期は最低でも14カ月と長期になるとのことでした。

連携し早期開通を目指す

2/2 高速交通等対策特別委員会

日沿道の早期完成に向けた取り組みに供するため、国土交通省の方を講師に、村上市議会と鶴岡市議会で合同研修会を開催しました。

日沿道（朝日温海道路）は村上市から鶴岡市に至る約40・8 kmの高規格道路で、平成25年に事業化が決定、新潟県側は29年から工事に着手しました。現時点で99%用地取得済みで、工事が懸命に進められています。

トンネルが16本

切土盛土といった工事のほか、トンネル、橋の工事が進められています。山間部を多く通過する道路であるため、新潟県側のトンネルは16本計画されていますが、完成したものも合わせて5本着手されています。工事によって生じた土砂は搬出して高速道路の盛土として有効活用しており、同時に国道7号の上などを橋で渡るため橋りょう工事も進

められています。

村上・鶴岡で連携を

両市議会による意見交換会では、鶴岡市側の道の駅しやりんが同市鼠ヶ関地内に令和9年移転開業予定ですが、道の駅朝日とも近く、連携・差別化により共存共栄を図るべきとの意見がありました。

本市にとって非常に期待の大きい朝日温海道路であり、鶴岡市議会とも連携して、日沿道の早期全線開通に努めていきます。



市議会のさらなる活性化へ

議会改革調査特別委員会 最終報告

議会改革調査特別委員会は令和4年第2回臨時会において設置されました。当委員会では、はじめに具体的な検討項目を確定するため、全議員にアンケートを実施し、検討項目を精査した結果、「政治倫理・資質の向上」、「議員定数の見直し」、「議会のデジタルトランスフォーメーションの推進」、「議員の人材確保」の4項目について調査検討することとしました。これまで18回にわたり委員会を開催し、諸課題について検討を重ねてきました。

このたび一定の結論が得られ、先の第1回定例会最終日において、長谷川孝委員長より最終報告がありました。

「政治倫理・資質の向上」

倫理条例の制定に向けて協議を進め、条例の基本的な項目として、**政治倫理基準、請負等の制限、住民の審査請求、政治倫理審査会、問責制度**の5項目を盛り込んだ条例案を確定し、4年第4回定例会において議員発議により提案し、原案通り可決成立しました。

「議員定数の見直し」

さらなる議員定数削減の必要性については意見が拮抗し、一旦は議論を打ち切りま

した。その後再検討を求める強い意見があり、定数についての協議を再開、議員定数を22人から20人とする方向で意見が一致し、パブリックコメントを経て、5年第4回定例会において議員発議により改正案を上程し、原案のとおり可決しました。引き続き各委員会の人数についても見直しを協議し、それぞれ変更となりました。

「議会のデジタルトランスフォーメーションの推進」

地方議会で導入が進むタブレット端末について検討した結果、ペーパーレス化など導入の効果が有益であると判断し、タブレット端末の導入を決定、6年第2回定例会からの運用を目指すこととしました。

「議員の人材確保」

議会議員のなり手不足が大きな課題となっていることから、その対策として、福利厚生面での環境整備が重要との多くの意見があり、その方向で意見集約を図り検討しました。

その中で、地方議員の厚生年金加入の法制化が、なり手不足対策として効果的であるとの結論に至り、関係省庁へ意見書を提出しました。

村上桜ヶ丘高校

1月16日、村上桜ヶ丘高校の「地域生活学」を履修する生徒17人が6班に分かれ、議員7人と懇談会を実施しました。「地域生活学」は3年時の選択科目で、体験を通して地域の生活文化を学び、地域社会の一員として自分の考えを深めることを目指しています。多様な観点から意見交換が行われました。

生徒各班からの提案

▼「農林水産業を盛んに」老朽施設を改修してICT導入、担い手不足対策や地産地消を進める ▼「地域を元気に」観光情報や伝統産業をSNSで発信と、若い労働者を引き付けるIT企業を誘致して活性化を狙う ▼「豊かで安心なまちに」運転免許返納者向けの健康的なイベント開催や孫世代から返納を呼びかける ▼「安全で便利な市に」交通の便が悪く住みにくい。市限定の交通系ICカード導入、レンタル自転車の配置、公共施設で訪問診療を行



素晴らしい構想を生徒がプレゼン

▼「元気な高齢者を増やす」地域包括ケアシステム、健康寿命の延伸、空き家を介護施設に活用などに取り組み ▼「笑顔で安全安心な生活を」シヨッピングモール・レジャー施設・カフェを核に、また公園を中心に高齢者と若者の住宅が一体化することで、多様な価値観の交流が生まれ、少子化改善、支え合いが進み、世代が循環するまちになる

議員から

議員からは、現状を交えて市の取り組み状況やプレゼンへ意見が述べられました。若い視点での素晴らしいアイデアを、これからの村上市に役立てていきます。

村上市の将来像を語ろう

高校生と議会の懇談会を開催

村上市議会では、村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、議員が市内4つの高校・中等教育学校に出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。

今号では、村上桜ヶ丘高等学校と村上中等教育学校での様子を紹介します。

村上中等教育学校

1月31日、村上中等教育学校4年生76人が12班に分かれ「未来の村上について考える」をテーマに懇談会を行いました。議会からは8人の議員が参加。企画書作成中の各班に議員が村上市の現状等をアドバイスしました。

生徒の皆さんからは、「議員と話して現実味を帯びた」「これからも地元のことを考えていきたい」「ディスプレイオンを通じて考えが深まったので良かった」などの感想をいただきました。

生徒各班からの提案

▼「村上の国際化」外国人にも利益のある制度を作り呼び込む ▼「Connect to live」村上市の働き手を増やすために「農業を支えるIT起業を誘致 ▼「空き地を利用して若者の地元離れを防ぐ」気軽に立ち寄れるストリートバスケコート等を整備 ▼「地域の魅力を活かし地方を活性化」山北地域に道の駅を建設し情報発信 ▼「価値ある村



村上市の課題をよく捉えて企画書を作成

上へ」空き家を有効活用して特産等を情報発信 ▼「自然とともに未来へ」廃校を活用しアグリツーリズムを展開 ▼「キッズタウン村上」給食費の無償化、子育て応援カードで割引など ▼「村上の食べ物フェスタで地域活性化」観光客増と地元の良さを再確認 ▼「君たちはどう逃げるか」防災公園や街灯を設置 ▼「海外の技術と豊かな村上市生活でMico・Mico」海外の人をホームステイで交流、労働力不足を補う ▼「村上市に何も無いとは言わせない」空き民家の有効活用 ▼「過疎化に手を貸そうか」中高生が地元企業の課題解決を探り、理解を深める

市民へ Q&A インタビュー

地域を元気に

いたがき ふ じ み
集落支援員 板垣富士美 さん (高根)

■自己紹介をお願いします

新潟市の出身です。縁あって高根集落で生活すること早30年、結婚当時は高根小学校に通う子どもたちの声や、隣近所の人とあいさつを交わす声を耳にし、集落内がにぎやかだったことを思い出します。今は子どもの数が減り、集落行事も簡素化され寂しくなりましたが、この地域に元気を取り戻したいという思いで活動しています。

■活動内容を教えてください。

買い物支援や地域の茶の間への参加など、地域の課題解決に向けた活動をしています。

朝日地区では年6回の買い物支援ボランティアを募り行っています。施設の車を利用し、一人暮らしや車の運転ができない高齢の方を自宅からスーパーまで送迎しています。この取り組みを長く続けるために、地域の茶の間などで集落を回った際に活動内容を伝えています。地域の茶の間に



は各集落の情報を得るために参加していますが、どの集落でも快く迎えていただき、朝日地区の方の温かさを感じています。

他に、朝日みどり小学校で花壇整備も行っています。植物を育てる難しさはありますが、子どもたちに喜んでもらえることを励みに、将来は憩いの場として活用出来るよう、地域住民の協力を得て行っています。

■今後の抱負は

活動を始めて今年5月で3年目になりますが、多くの集落で今後の生活への不安を耳にします。それぞれの集落で、お互いに助け合っている仕組みを作ること、そのために集落支援員として、話し合いの場を設け、仕組みづくりのお手伝いをしていきたいと考えています。

私たちがつくりました



市議会では、議会の活動状況を市民の皆さまにお知らせして、市議会を身近に感じていただくために、「市議会だより」を年4回発行しています。

委員会のメンバー6人が、記事を書き、写真を撮り、誌面の構成を考えて、読んでもらえる市議会だよりを目指して頑張ってきました。

本号が現委員で作成する最後の市議会だよりになりますが、今後も、議会の様子をわかりやすくお伝えできるように取り組んでいきます。

議会広報特別委員会

渡辺 昌 (委員長) 上村正朗 (副委員長)
鈴木一之 高田 晃 富樫雅男 本間善和

令和6年 6月定例会のお知らせ(予定)

5月21日(火)	請願・陳情の提出期限 (正午まで)
6月4日(火)	定例会初日 (本会議)
6日(木)	
7日(金)	一般質問 (本会議)
10日(月)	
11日(火)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
12日(水)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
13日(木)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
18日(火)	一般会計予算決算常任委員会
21日(金)	定例会最終日 (本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。